

建築設備工事監理報告書

経 過 (行政庁記入)				
受領日	検査日	処理日		担 当
/	/	/		

平成 年 月 日

(株)確認検査機構トラスト様

工事の監理状況を報告します。
この監理報告書は事実に相違ありません。

工 事 監 理 者 () 建築士 () 登録第 号
資 格 氏 名 (印)
建 築 士 事 務 所 名 () 建築士事務所 () 登録第 号 TEL

建 築 設 備 に 関 し 建 築 設 備 士 () 登録第 号
意 見 を 聴 いた 者 (印)
の 氏 名 ・ 勤 務 先 名 () 登録第 号 TEL

建 築 工 事 施 工 者 () 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号 (印)
登 録 氏 名
設 備 工 事 施 工 者 () 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号 (印)
登 録 業 種 氏 名
() 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号 (印)
() 建設業の許可 (大臣・知事) 第 号 (印)

概 要

建 築 主 氏 名					
敷 地 の 地 名 地 番					
確 認 年 月 日 ・ 番 号	平成 年 月 日 第	計 画 変 更 確 認 号	平成 年 月 日 第	番 号	号
建 築 物 の 名 称					
建 築 物 の 概 要	用 途	工 事 種 別			
	階 数	建 築 面 積	m ²	延 べ 面 積	m ²
建 築 設 備 の 概 要 (該 当 す る も の を ○ で 囲 む)	1	機 械 換 気 設 備	6	避 雷 設 備	
	2	感 知 器 と 連 動 し て 閉 鎖 す る 防 火 設 備	7	ガ ス 設 備 (3 階 以 上 の 共 同 住 宅 の み)	
	3	排 煙 設 備 (自 然 ・ 機 械 ・ 加 圧)	8	シ ッ ク ハ ウ ス 対 策 用 換 気 設 備	
	4	非 常 用 照 明 装 置			
	5	給 水 、 排 水 そ の 他 の 配 管 設 備			

注) 計画変更確認年月日・番号は最新のものを記載すること。

防煙区画名（室名等）		排煙口開口面積 No. (m ²)		排煙風量 必要風量 (m ³ /h) 測定風量 (m ³ /h)		給気口開口面積 No. (m ²)		給気風量 必要風量 (m ³ /h) 測定風量 (m ³ /h)		備考

排煙風量測定記録

※排煙機又は給気用送風機ごとに記載すること。

測定日 平成 年 月 日
 測定者 氏名 _____ 印
 会社名 _____

[排煙機又は送風機の仕様]
 No. _____ 製造者名 _____
 仕様 [_____ m³/h × _____ kW × _____ Pa]

6. 避雷設備

<input type="checkbox"/> 報告事項 JISA4201:1992 (旧JIS)	状況等	<input type="checkbox"/> 報告事項 JISA4201:2003 (新JIS)	状況等
<p>1. 避雷設備の方式</p> <p>〔 直接法・簡略法 ・その他 () 〕</p> <p>2. 受雷部の種類</p> <p>〔 突針・むね上げ導体・独立避雷針・独立架空地線・ゲージ ・その他 () 〕</p> <p>3. 各部の取付状態</p> <p>○接地極の埋設部及び簡略法にあつては鉄骨、鉄筋と避雷導線との溶接部（上部・下部共）の写真の添付</p> <p>4. 離隔距離及び等電位ボンディング</p> <p>○避雷導線は、電灯線、電話線又はガス管等から1.5m以上の離隔</p> <p>○避雷導線から1.5m以内の金属体の等電位ボンディング</p>	<p>良 否</p> <p>有 無</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p>	<p>1. 受雷部システム</p> <p>○受雷部 [突針・水平導体・メッシュ導体]</p> <p>○配置 保護角法 [20・30・45・60・60超過]</p> <p style="padding-left: 20px;">回転球体法 [20・30・45・60]</p> <p style="padding-left: 20px;">メッシュ法 [5・10・15・20]</p> <p>○保護レベル [I ・ II ・ III ・ IV]</p> <p>2. 引下げ導線システム</p> <p>○直接法 保護レベルに応じた引下げ導線の平均間隔 (m以下)</p> <p style="padding-left: 20px;">(I 10 ・ II 15 ・ III 20 ・ IV 25)</p> <p>○構造体利用</p> <p>3. 接地システム</p> <p>○接地極 A型接地極 [板状接地極 ・ 垂直接地極 放射状 (水平) 接地極 ・ その他]</p> <p style="padding-left: 20px;">B型接地極 [環状接地極・網状接地極・その他]</p> <p style="padding-left: 20px;">構造体利用接地極</p> <p>○取付け 受雷部及び引下げ導線を堅固に取付け</p> <p>○接続部 [黄銅ろう付け ・ 溶接 ・ 圧着 ・ ねじ締め ボルト締め・半田付け・テーパー面接触接続・その他]</p> <p>○材料 気中 [銅・溶融亜鉛めっき鋼・ステンレス鋼・アルミニウム・鉛]</p> <p style="padding-left: 20px;">地中 [銅・溶融亜鉛めっき鋼・ステンレス鋼・鉛]</p> <p style="padding-left: 20px;">コンクリート内 [銅・溶融亜鉛めっき鋼・ステンレス鋼]</p> <p style="padding-left: 20px;">構成部材の状態 (寸法・腐食など)</p> <p>○接地極の埋設部及び構造体利用にあつては鉄骨、鉄筋と引下げ導線との溶接部 (上部・下部共) の写真の添付</p> <p>4. 離隔距離</p> <p>○受雷部及び引下げ導線と金属製工作物及び電力信号設備等との離隔距離</p>	<p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>良 否</p> <p>有 無</p> <p>良 否</p>
注：採用したJIS規格の□を■にすること。			

接地抵抗測定記録 JISA4201:1992 (旧JIS)

○測定日 平成 年 月 日 ○天候 _____

○測定者 氏名 _____ (印)

会社名 _____

○測定値

接地極記号 (右図参照)						
単独接地抵抗値 (Ω)						
総合接地抵抗値 (Ω)						

◎ 指示事項とその手直し経過

○避雷設備概略図

(受雷部、導線、接地極及び外周長を記載すること。)



8. シックハウス対策用換気設備		風量測定記録			測定日 平成 年 月 日							
					測定者 氏名 _____ ㊤ 会社名 _____							
報 告 事 項	状況等	換気 エリア 番号	換気 種別	室名	床面積 A (m ²)	平均天井高 h (m)	気積 V=A×h (m ³)	換気回数 N (回/h)	所要換気量 Q=V×N (m ³ /h)	実測風量 (m ³ /h)		備考
										給気	排気	
1. 換気計画 ○換気エリア、換気経路、間仕切り建具等の通気性の確認（換気計画を示した図の添付）	良 否											
2. 換気種別 ○換気方法の種別（第1種・第2種・第3種）の確認	良 否											
3. 換気回数 ○必要換気回数（0.3・0.5・0.7回/h）の確認	良 否											
4. 換気設備スイッチの措置 ○常時運転を指示する注意書き等、シックハウス対策用としての配慮ができてきているかの確認	良 否											
5. 換気装置の取付状態、運転状況	良 否											
6. 給排気口の状態 ○給排気口の有無、位置、大きさの確認 ○雨除け・虫除け対策の確認	良 否											
7. 換気ダクトの施工状況 ○防火区画貫通措置等の確認 ○ダクト材質の確認	良 否											
8. 換気装置の能力（風量測定記録） ○次のイ～ハのいずれかの方法により風量を確認し、右風量測定記録の実測風量欄に記入する。 イ. 実測風量測定 ロ. 換気装置ダクト等の圧力損失計算（計算書、資料の添付） ハ. 定格風量（カタログ等資料の添付） ※上記ハ. は壁付け換気扇等の場合のみ適用可	良 否											
◎指示事項とその手直し経過												